

美しい 県土づくりNEWS



2010年
12月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌 77号
平成 22年 12月 10日発行
編集 県土整備企画室



目次

- 2 三陸北縦貫道路「中野バイパス」が開通
- 3 「社会資本整備を推進するための予算の確保に関する緊急提言」を実施
- 4 いわて公共建築フォーラム 2010 を開催
- 5 一般国道 282 号一本木バイパスが部分開通
- 6 主要地方道岩泉平井賀普代線太田部地区全面通行止め解除
- 7 世代をつなぐ防災・住まいの耐震授業
- 8 津付ダム付替国道1号トンネルが貫通
- 9 主要地方道宮古岩泉線館合地区歩道整備が完成
- 10 県庁前の国道 455 号の落葉清掃を実施
- 11 除雪作業へのご協力をお願い
- 12 第7回い〜はと〜ぶスタンプラリー開催のお知らせ
- 13 明日を担う若手職員を紹介します

(県北広域振興局土木部 菊池技師)

三陸北縦貫道路「中野バイパス」開通！！

～ 急勾配、急カーブが連続する交通の難所が解消 ～

平成 22 年 11 月 28 日(日)、国が整備を進めてきた三陸北縦貫道路「中野バイパス」が開通しました。

開通式は、岩泉町小本の岩泉長内トンネル坑口で行われ、関係者約 190 人が出席し、交通の難所を回避する新しいバイパスの完成を祝いました。



三陸北縦貫道路『中野バイパス』が開通しました！！

～ 急勾配・急カーブが連続する交通の難所が解消 ～

道路建設課

平成 22 年 11 月 28 日(日) 岩泉町小本～田野畑村大芦間の地域高規格道路 三陸北縦貫道路『中野バイパス』が全線開通しました。

『中野バイパス』は全長 6.2km、片側 1 車線の自動車専用道路であり、平成 18 年 2 月には、先行整備区間である「田野畑工区」(鶴の巣断崖 IC～田野畑南 IC)L=1.5km が部分開通しており、今回、「岩泉工区」(岩泉龍泉洞 IC～鶴の巣断崖 IC)L=4.7km が完成したことにより、全線開通となったものです。



【開通式】

開通式は、国道交通省東北地方整備局三陸国道事務所、県、岩泉町、田野畑村が主催し、関係者約 190 名が出席しました。式典では、上野善晴副知事、伊達勝身岩泉町長の挨拶に続き畑衆議院議員、菊池衆議院議員、藤原参議院議員の来賓祝辞の後、地元の岩泉町立小本小中学校の神楽や田野畑村立田野畑小学校のスクールバンドによる演奏が行われました。



【中野バイパスの整備効果】

『中野バイパス』の開通により、岩泉町小本地区から田野畑村大芦地区まで国道 45 号を走行した場合に比べ、所要時間は約 5～7 分短縮されるとともに、急勾配区間や急カーブ箇所も回避されます。

また、走行性の向上だけではなく、岩泉町、田野畑村をはじめとする三陸沿岸地域の交流促進や物流の円滑化、医療機関へのアクセス向上、災害時の代替道路としての役割を担うなど、産業振興や沿線住民の安全・安心な暮らしの確保に結びつくものと期待されています。



「社会資本整備を推進するための予算の確保に関する緊急提言」を行いました！！

～ 地方が必要とする社会資本整備予算を確保するために ～

県土整備企画室

本県の平成 22 年度公共事業予算は、直轄事業が対前年度比 22%減（事業費ベース）、社会資本整備総合交付金をはじめとした県及び市町村への配分額が対前年度比 24%減（国費ベース）と大幅な減少となりました。公共事業予算に関する平成 23 年度概算要求（国土交通省）では、要求額は平成 22 年度と概ね同額となっているものの、「元気な日本復活特別枠」が措置されなければ、対前年度比 12%の減少となります。

また、平成 23 年度概算要求では、内閣府の「地域再生基盤強化交付金」が廃止され、それに対する代替措置が講じられていないほか、先の特別会計を対象とする行政刷新会議の「事業仕分け第 3 弾」では、治水、道路、港湾各事業の平成 23 年度予算要求を 10～20%圧縮との評価結果が出るなど、地方の社会資本整備予算が更に減少することが懸念されます。

このため、本県では、平成 22 年 11 月 18 日（木）、民主党の岡島副幹事長、国土交通省の池口副大臣に対し、「社会資本整備を推進するための予算の確保に関する緊急提言」を行いました。当日は、達増知事から、東北横断自動車道、三陸縦貫自動車道などの高規格幹線道路や、久慈港湾口防波堤等の直轄事業の整備促進、社会資本整備総合交付金をはじめとした地方が実施する社会資本整備を推進するための予算の確保、自動車産業を支援する道路の整備促進などを提言しました。

県としては、必要な社会資本整備が遅れることのないよう、今後とも、国に対して働きかけていきます。

社会資本整備を推進するための予算の確保に関する緊急提言

平成 22 年 11 月 18 日 岩手県

社会資本整備を推進するための予算の確保について

- 1 高規格幹線道路等の整備促進
- 2 防災施設整備事業の促進
- 3 港湾・海岸整備事業の促進
- 4 「社会資本整備総合交付金」及び「地域再生基盤強化交付金」をはじめとした地方が実施する社会資本整備を推進するための予算の確保

自動車産業を支援する道路の整備促進について

- 1 東北横断自動車道釜石秋田線の整備促進
- 2 一般国道 4 号の整備促進



民主党 岡島副幹事長への提言



国土交通省 池口副大臣への提言

いわて公共建築フォーラム 2010 を開催しました！！

～ もっと身近に公共建築「公共建築とリノベーション」～

建築住宅課

県では、公共建築月間(11月)の行事の一環として、(社)岩手県公共建築設計監理協会との共催により、公共建築への愛着と理解を深めていただくため、平成22年11月16日(火)に「いわて公共建築フォーラム2010」を盛岡市のプラザおでつで開催しました。

人口減少や市町村合併など時代の流れを受け、公共建築についても「再編」が必要となってきています。全国的にも、学校の統廃合によって生じた余剰施設を観光施設にするなどの取り組みが行われています。

今回のフォーラムでは、公共建築をとりまく状況を踏まえ、公共建築を新しい形で再生させる、**リノベーションと地域活性化の可能性**について、有識者による講演や実務者の方々を交えたパネルディスカッションを行い、会場には約150名の皆様に御来場いただきました。

いわて公共建築フォーラム2010の概要

第一部 講演「公共建築とリノベーションの可能性」

(株)オープン・エー代表取締役 馬場正尊 氏

第二部 パネルディスカッション

コーディネーター 岩手県立大学教授 倉原宗孝 氏

パネリスト 盛岡市都市整備部次長兼都市計画課長 藤島裕久 氏

(有)盛岡設計同人代表取締役 渡辺敏男 氏

(株)オープン・エー代表取締役 馬場正尊 氏



馬場先生の講演



パネルディスカッションの様子



聴講する参加者の皆さん



終了後は参加した盛岡工業高校の生徒の方々から御礼を頂きました。

一般国道282号一本木バイパスが部分開通！！

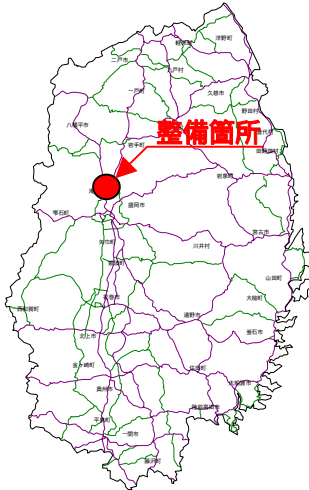
盛岡広域振興局土木部

県が平成6年度から滝沢村で整備を進めてきた一般国道282号一本木バイパスが、平成22年11月11日に部分開通しました。

滝沢村一本木地区の一般国道282号は、道路が狭い区間が連続しているため、交通事故が多発しているほか、通過交通と地区内交通が混合することにより交通渋滞が発生するなど、安全で円滑な交通が確保されていない状況になっていました。

今回開通する区間は、全体計画3,910mのうち、北側の滝沢村滝沢字砂込～留が森までの延長3,190mで、滝沢村が整備を進めてきた村道一本木松島主幹線も同時開通し、隘路箇所解消による交通渋滞の緩和や、安全性の向上が期待されます。

今後は、残る720mの整備を進め、早期に全線開通できるよう取り組んでいきます。



現道の隘路状況



開通後の状況



主要地方道岩泉平井賀普代線太田名部地区 法面崩壊に伴う**全面通行止めを解除**しました！！

県北広域振興局土木部

平成 22 年5月 26 日に発生した法面崩壊に伴い、下閉伊郡普代村太田名部地区の主要地方道岩泉平井賀普代線の延長 3.3km 区間を全面通行止めとしていましたが、仮復旧工事が完了したことから、11 月 30 日正午に全面通行止めを解除し、片側交互通行での通行が可能となりました。

なお、現場には仮設の防護施設が設置されているため、高さ 3.8m 以上の車両の通行はできませんので、該当する車両は一般国道 45 号への迂回をお願いします。

引き続き本復旧工事を進め、早期完成を目指して工事を進めて参りますので、ご協力をお願いします。



現在の状況(H22.11 撮影)

交通規制位置図

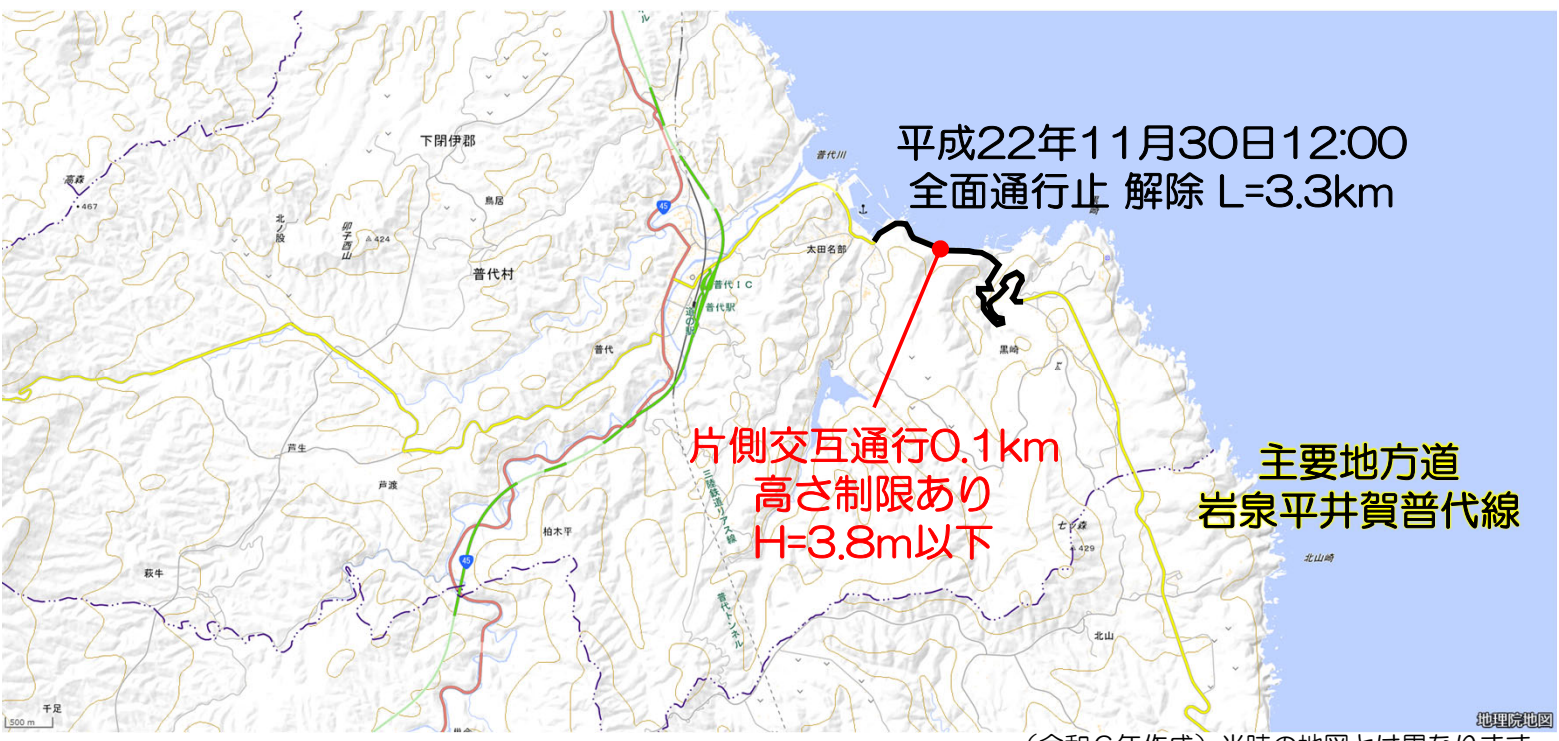
差し替えた地図は、別ページを御覧ください

平成22年11月30日12:00
全面通行止 解除 L=3.3km

片側交互通行0.1km
高さ制限あり
H=3.8m以下

主要地方道
岩泉平井賀普代線

(令和6年作成) 当時の地図とは異なります



世代をつなぐ防災・住まいの耐震授業

～ 岩手県耐震改修促進計画に基づく普及啓発事業 ～

県南広域振興局土木部 花巻土木センター

花巻土木センターでは、平成22年11月9日、花巻市立桜台小学校で、5年生134名を対象に耐震授業を実施しました。

本授業は（社）岩手県建築士会花巻支部の協力を受けて実施したもので、はじめに、スライドで地震の起こる仕組みや日本や世界での地震被害の状況、地震は繰り返し起こること、近い将来に宮城県沖地震が発生すると予測されていること、そのための備えとして住宅等の耐震診断や耐震改修が必要であることなどを説明しました。

次に、体育館内に設けた3つの体験コーナーを回ってもらい、建築物の補強前と補強後の強さの違い、大きな梁の重さ、住宅が倒壊する状況などを体験学習してもらいました。

参加した皆さんには、今回の体験を家族にも伝えてほしいこと、そして家族全員でもう一度住まいの耐震性や家具の転倒防止などの安全点検をしてほしいことをお願いし、耐震授業を終了しました。

当センターにおける耐震授業は、今回の桜台小学校で5校目となりました。家族の安全は家族で守るといふ防災意識の啓発のため、今後ともこのような取組みを継続していきたいと考えています。



地震災害をスライドで学習



筋交いで建物がしっかり安定することを体験



梁の重さを体験



強い横揺れで家が倒壊する様子を学習

津付ダム付替国道1号トンネルが貫通しました！！

沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター
津付ダム建設事務所

平成22年3月に工事着手した、津付ダム建設事業に伴う付替国道1号トンネル工事が順調に進捗し、平成22年11月11日、午前9時に貫通しました。

当日は、関係者が見守る中、油圧ブレイカーでわずかに残った壁を掘削すると、小さな穴から光が差し込み、貫通に至りました。

付替国道1号トンネルは、今後は覆工という、コンクリートで掘削面を覆う作業を行い、来年6月の完成を目指して工事を進めていきます。

1号トンネル築造工事の概要

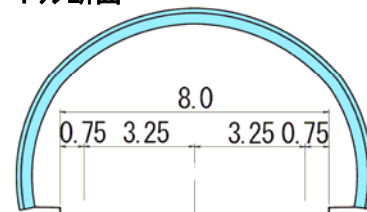
工期：平成22年3月10日～平成23年6月8日

施工延長：L=448m

トンネル延長：L=423m（NATM工法）

計画幅員：W=6.5（8.0）m

<トンネル断面>



単位：m

貫通の瞬間(内側)



貫通の瞬間(外側)



貫通後の1号トンネルの様子



さらに詳しい情報は、下記の津付ダム建設事務所のホームページをご覧ください。

津付ダム建設事務所

<http://www.pref.iwate.jp/~hp4580/>

津付ダム付替国道（津付道路）

<http://www.pref.iwate.jp/~hp4580/tuduki-road/>

主要地方道宮古岩泉線 館合地区の歩道整備が完成

～ 安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備 ～

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

県が、平成17年度から宮古市で整備を進めてきた、主要地方道宮古岩泉線館合地区の歩道整備が、平成22年12月6日に完成しました。

当該地区は、歩道が両側に千鳥状に設置されている区間や、歩道が擁壁上にあり高低差がある区間など、歩行者が通行しづらい状況だったため、歩道を利用しない歩行者が多く、交通安全上危険な状況となっていました。このため、歩道整備をはじめるとあたり、地元の小中学校、高校、NPOなどと「館合地区歩道整備懇談会」を立ち上げ、歩道整備について意見交換を行い、本地区の整備方針を以下のとおり決定しました。

【館合地区歩道整備方針】

千鳥状の歩道は片側に通すこと

一部擁壁上に設置されている歩道は車道面まで下げること

点字ブロックや道路照明などの交通安全施設の充実を図ること

今回の整備箇所は、市街地であるため、岩掘削に伴う騒音対策や、交通量が多いため作業スペースが狭いなど厳しい現場条件での工事となりましたが、本整備により、歩道の高低差の解消や連続性が確保され、歩行者の安全性と利便性の向上が図られました。



県庁前の国道455号の落葉清掃を実施しました

～ 盛岡市内丸の各官公庁職員による朝のボランティア清掃 ～

盛岡広域振興局土木部

国道455号（盛岡市内丸地内）の街路樹（トチノキ）は、落葉が盛んになると、景観を損なうだけでなく、歩行者等が通行する際の支障となります。

このことから、道路管理者である盛岡広域振興局土木部では、通常の業務委託による道路清掃に加えて、盛岡市内丸の官公庁職員による朝の業務開始前のボランティア清掃活動を平成16年度から実施しています。

今年度も、内丸地内の官公庁に対して本清掃活動への参加を呼びかけ、10月25日から11月25日までの間、毎週月曜日、木曜日の週2回、ボランティア清掃活動を実施しました。

また、官公庁職員以外についても、社会福祉法人カナンの園や、岩手県建設業協会盛岡支部、一般の方々など、多数の皆さんからご協力をいただき、今年度の清掃活動を実施することができました。

なお、集めた落葉は、希望者に提供し、堆肥づくり等に活用されています。



<各官公庁の清掃エリア>

- 東警察署
- 国・合同庁舎
- 法務合同庁舎
- 裁判所
- 県庁
- 議会事務局
- 振興局





間口除雪にご協力を

各商店・各家庭から道路へ出る間口に寄せられた雪の除雪については、各家庭・ご近所等でご協力をお願いいたします。

道路への雪だしはやめましょう

道路への雪だしは、路面凍結の原因となるほか、路面が凸凹になり非常に危険で、交通事故や渋滞の原因にもなります。

路上駐車はやめましょう

路上駐車は、除雪作業の妨げとなります。また、車の乗り入れ板や看板等も障害物となり、危険です。



深夜・早朝作業にご理解を

除雪作業は、朝の通勤・通学に間に合うよう、主に交通量の少ない夜間や早朝に行います。作業中は騒音・振動等でご迷惑をおかけしますが、ご理解くださるようお願いいたします。

除雪車に注意!!

除雪作業は安全第一で行っていますが、作業中の除雪車は大変危険です。近づかないでください。

除雪車は場合によって、道路のセンターラインを越えて作業をすることがあります。車等で走行する際もご注意ください。

路面凍結に注意!!

路面凍結により通行に支障がある場合又は支障になると予想される場合に、凍結抑制剤を散布しておりますが、気象条件等により路面が凍結している場合がありますので、通行の際は、十分に注意してください。

<お問い合わせ先>
 県庁県土整備部道路環境課 019-629-5878
 または最寄りの広域振興局土木部、土木センターまで

岩手県道路情報提供サービス
 ホームページ
 URL: <http://www.douro.com/>

第7回 いーはとーぶスタンプラリーを開催

～ 冬期における「道の駅」の利用促進を目指して ～

道路環境課

～ 冬のいわて路をエンジョイしよう!! ～

第7回 岩手「道の駅」

いーはとーぶ スタンプラリー

開催期間 (平成22年) '10.12.1 ~ (平成23年) '11.4.10



岩手県内の「道の駅」で、応募ハガキにスタンプを集めて応募すると、抽選で県内産品のステキな賞品が当たります。

いわって大賞

スタンプ20駅以上を集めて応募された方から抽選で10名様に8,000円相当の県特産品を進呈。

10名

つめちゃったで賞

スタンプ10～19駅以上を集めて応募された方から抽選で15名様に5,000円相当の県特産品を進呈。

15名

馬かったで賞

スタンプ5～9駅以上を集めて応募された方から抽選で90名様に県内「道の駅」の特産品を進呈。

90名

※岩手「道の駅」完走の方に「完走証明書」を進呈します。

● 応募要項

岩手県内の「道の駅」に書かれている道路ハガキ(大人用1枚1行)に「道の駅」のスタンプを捺印し、郵便番号、住所、氏名、電話番号等の必要事項を記入の上、必ずお封筒に入れて応募して下さい。
なお、応募の郵送料は商品の発送をもってかたせいでいたが差戻すのでご了承下さい。

● 注意事項

スタンプは併用されている道路の距離計部分には捺印できません。また、応募事項の半記入や2枚以上の応募の場合、その応募が無効となり返すかたに返す下さい。
※抽選結果は抽選について
応募された方から抽選される抽選日は、抽選結果が発表される抽選日より1週間以内(土曜日の場合)に抽選結果が発表されます。



スタンプを置いてある場所

主催：岩手県「道の駅」連絡会

岩手河川国道事務所 調査第二課(直通)
三陸国道事務所 交通対策課(直通)
岩手県県土整備部 道路環境課(直通)

☎019-624-3196

☎0193-71-1718

☎019-629-5878

又は、各道の駅まで。

明日を担う若手職員を紹介します！

No.8 県北広域振興局土木部 技師 菊池崇尚さん

美しい県土づくり NEWS では、県土整備部の明日を担う若手職員への突撃 お仕事インタビューを掲載しています。若手職員の日頃の仕事情況や、仕事に対する心意気などをご紹介しますので、ご期待ください。

第8回は、**県北広域振興局土木部の菊池技師**です。

Q1 担当している仕事を教えてください

平成12年度入庁

一関地方振興局土木部(現 県南広域振興局一関土木センター) 県庁都市計画課などで主に道路工事の設計監督業務や街路公園事業の予算の管理などを担当してきました。

(現在) 県北広域振興局土木部 4年目

主に道路防災対策や橋梁補修など既存の道路における維持管理関係の設計や工事監督を担当しています。



Q2 仕事の面白いところは何ですか？

工事の企画段階から完成までの一連の業務を担当することができ、負担も大きいですが、その分やりがいを感じます。少しの工夫や配慮によって、完成までの期間や成果が著しく変わっていきますので、常に先を読んで仕事を進めるよう気をつけています。

Q3 仕事の難しいところは何ですか？

橋やトンネルなどの道路施設の老朽化が進んでいますので、道路を利用する方々の便を損なわないよう、これまで以上に適切に管理をする必要がありますが、対象となる施設が非常に多いことから、対象施設を正確に把握し、状態及び対策の必要性を正確に判断することに難しさを感じています。

Q4 どんな職場ですか？

各年代がバランスよくそろっており、それぞれの立場や経験を元に自由な意見が言い合える、恵まれた環境です。また、繁忙期や非常時には各担当の枠を超え、皆が一丸となって業務に取り組んでいる素晴らしい職場です(特に道路整備チーム、河川港湾課の皆さんにはお世話になっています)。

ちなみに、職場が合同庁舎の5階にあるため、窓から久慈湾を眺望することができますので、仕事の合間の気分転換には事欠きません。

Q5 最後に一言(今後の抱負など)！

既に若手とは言えない年齢(風貌)ですが、常に「誰のため、何のための仕事か？」という原点を意識し、前例に捉われることなく仕事に取り組みたいです。

久慈地域には美味しい食材と素晴らしい景観がたくさんありますので、是非、観光にお越しください！！



現在担当している法面工事現場の山頂部から撮影した写真です。久慈地域の海岸線は四方八方に絶景が広がっています！